

船舶事故等調査報告書

平成21年10月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第141号	
事故等種類	衝突（岸壁）	
発生日時	平成21年4月6日 08時56分ごろ	
発生場所	香川県高松市高松港フェリーふ頭玉藻地区（-7.5m）岸壁 （概位 北緯34°21.3′ 東経134°02.9′）	
事故等調査の経過	平成21年5月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）のほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	旅客船 ブルーライン、999トン 136487、内海フェリー株式会社	
乗組員等に関する情報	船長 四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	左舷船尾フェンダー塗装はく離 岸壁滑り止め破損、同滑り止め周辺コンクリート剥離	
事故等の経過	本船は、高松港に入港し、同港フェリーふ頭玉藻地区（-7.5m）岸壁に出船として右舷着けするため、左回頭後、同岸壁のビットに船首尾から1本ずつ取った係船索を巻き締め、機関を使用して前後位置を調整しながら岸壁に寄せようとしていたところ、後進行きあしが強く、通常よりも船体が後方の岸壁に接近し、平成21年4月6日08時56分ごろ、左舷船尾がハーバープロムナード岸壁に衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、無風 海象：波なし、海上穏やか	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、船体を岸壁に寄せる際、後方の岸壁との距離を正確に把握していなかったため、後進行きあしを止める時機が遅れ、通常よりも船体が後方の岸壁に接近したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が高松港において着岸作業中、船首尾から岸壁ビットに取った各1本の係船索を巻き締め、機関を使用して前後位置を調整しながら岸壁に寄せる際、後方の岸壁との距離を正確に把握していなかったため、後進行きあしを止める時機が遅れ、通常よりも船体が後方に下がり、左舷船尾が岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。	